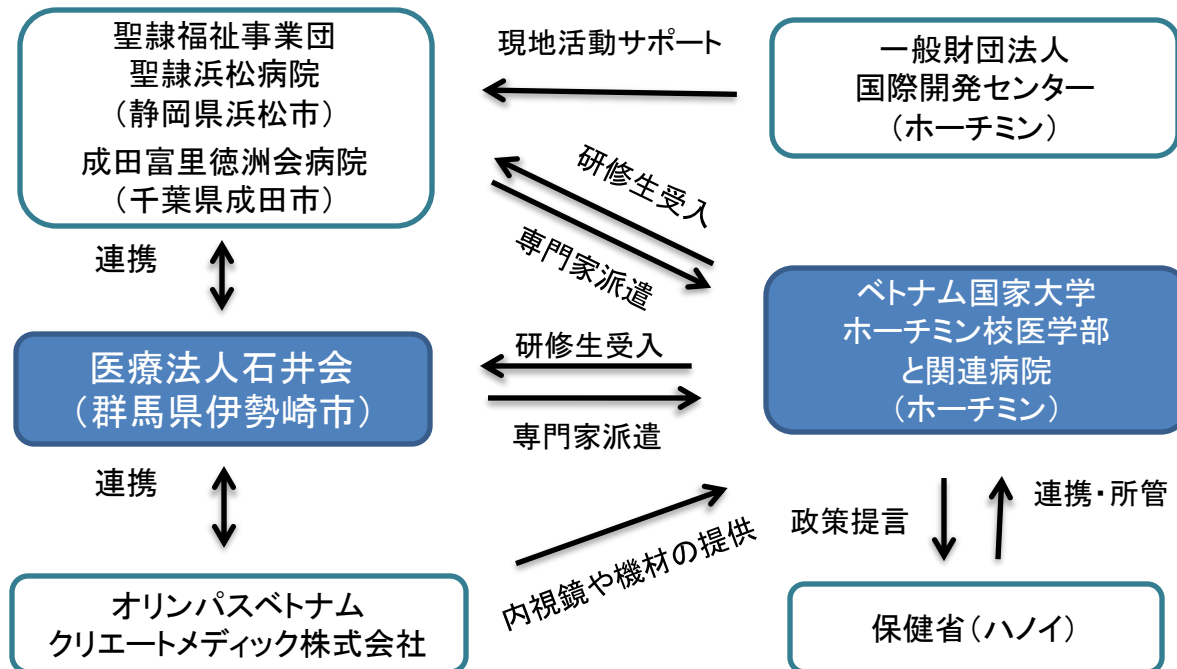


ベトナムにおける内視鏡、腹腔鏡機器を用いた消化器がん腫瘍専門医の育成 (消化器領域の手術手技の普及や、医療水準の向上を目指す。)

- ① ベトナムにおいて、死亡率の高い消化器がんを迅速かつ的確に診断し、安全かつ低侵襲な治療を提供できる専門医の数はまだ少ない。特に、粘膜切除術(EMR)や粘膜下層剥離術(ESD)といった内視鏡治療)、内視鏡下胃瘻造設やイレウス管留置といった保存的、緩和的治療は未成熟である。
- ② 内視鏡、腹腔鏡を施行できる消化器がんの腫瘍専門医を育成し、ベトナムにおける消化器がんの予後の改善、医療水準の向上と手術成績の改善を目的とする。
- ③ 日本の強みとして、内視鏡や腹腔鏡の技術や医療機器性能が挙げられる。専門家による技術指導や講義、実習等の研修機会を提供する。また、現地法人を有するオリンパス株式会社、現地に工場を有するクリエートメディック株式会社と協力し、ベトナム国家大学ホーチミン校医学部へ医療機器やデバイスの提供をする。
- ④ ベトナムでの専門医の教育システムの整備、最新の医療機器を用いた内視鏡技術、腹腔鏡手術の普及が見込まれ、医療機器の販売網拡大と消化器がんの死亡率改善が期待される。



- ＜研修スケジュール予定＞
- 7月8月 専門家派遣(5名)
 - ・オンラインでの打合せ(7月)及び現地研修(8月)
 - ・内視鏡/腹腔鏡に関する講義
 - ・研修の詳細や現在の問題点の確認
 - 9月11月 受入研修(6名)
 - ・医師を対象とした腹腔鏡の日本式医療技術/設備、デバイス、高度技術等の講義、実習
 - ・ドライラボ・ウェットラボでの実技指導
 - ・9月に3人、11月に3人、合計6人を予定
 - 12月 専門家派遣(3名)
 - ・解剖用遺体を用いた実技指導
 - ・学会参加と手術・内視鏡治療の現地指導
 - 1月 専門家派遣(4名)
 - ・現地研修
 - ・内視鏡/腹腔鏡に関する実技指導